第3回北秋田市総合戦略会議での意見に対する検討結果

2015/10/2 現在

NO	日付	頁	基本目標／施策名	箇所	意見等	発言者	担当課	備考	検討結果
35	8月19日	5	1-①農業・畜産業の振興	イ取組方針	地域資源活性化のためにはブランド化が大事。現在ある北秋田ブランドを具体的に明記して市民の認識を高めていけないか。「重点戦略作物」などではなく具体的に示していれば市民も分かりやすい。(黒にんにくへのバックアップも)	花田 元	農林課		6次産業化及びブランド化を推進する作物については、今後JAや生産者と協議を行い進めていくという観点から、1-①イ取組方針(3)を別紙のとおり追加修正いたします。
36	8月19日	5	1-①農業・畜産業の振興	イ取組方針	大館枝豆は国技館に出荷しているようだが、北秋田でも具体的な名称を出して6次産業に結び付けてもらいたい。「青森のりんご」のように「北秋田の●●」として一本化していけばブランド化が出来るのでは。北秋田市にはいいものがたくさんあるので、売り方の問題についての表現が弱いので盛り込んで欲しい。	小塚 光子	農林課		NO35と同じ
37	8月19日	5	1-①農業・畜産業の振興	イ取組方針	枝豆も(他の特産品も)名前を付けなければ、枝豆は売れても北秋田は売れない。(原木なめこもそうだが)場所をどう売るのがブランド化であるので、戦略に付け加えて欲しい。	大穂 耕一郎	農林課		NO35と同じ
43	8月19日	12	1-④観光・レクリエーションの振興	イ取組方針	北秋田市には陸上競技場やプール、スキー場などが揃っているのに合宿などで利用されない。理由は宿泊施設の料金が高いとのことのようなのだが、リピーターにもつながるので助成は考えられないか。	福森 卓	商工観光課	スポーツ振興課	毎年、関東の大学剣道部やフェンシング国体チームが体育館を利用し合宿を行っておりますが、スポーツ合宿の目的は強化合宿であり、合宿地として選択してもらうには、一流の指導が受けられる、または他にない設備が整っているといったような強化に対するメリットが求められる他、OBや関係者の口添えが最も大きいことから、金額にもよりますが、助成金による合宿誘致は厳しい状況であります。 しかしながら、地域の活性化に資するためにも、スポーツ合宿のみならず、滞在型観光施策として、長期的な連泊に対する料金助成について、宿泊施設と協議を行ってまいります。
38	8月19日	17	2-①移住・定住対策	イ取組方針	移住担当者の配置について、相手の気持ちを考えると「人」が大事。退職者などにサポーターの仕事を頼むとよいのでは。(大穂)移住している人へのアンケートをとったらどうか。(福森)	大穂 耕一郎	総合政策課	福森委員も同意	ご提案の移住担当者については、今後、市役所OBや既に北秋田市に移住した方の中でご協力いただける方も含め、どのような仕組みがよいか検討いたします。 また、移住者の全体像を把握している状況にありませんので、まずご協力いただける移住者の方々を募り、その後、移住促進につながるようなアイデアを提案していただくなどの試みも検討します。
39	8月19日	20	3-①安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実	イ取組方針	子育て支援の取組が共働きが前提の文言になっている。専業主婦に対する支援はリフレッシュだけなのか？	織山 友里	福祉課		検討させていただきます。
40	8月19日	20	3-①安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実	イ取組方針	事業所行動計画はあるが問題は実践しているかどうか。休みやすい職場づくりを北秋田市単独でバックアップできないか。	小塚 光子	福祉課		検討させていただきます。

資料1

第3回北秋田市総合戦略会議での意見に対する検討結果

2015/10/2 現在

NO	日付	頁	基本目標／施策名	箇所	意見等	発言者	担当課	備考	検討結果
41	8月19日	26	4-①地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立	イ取組方針	自治会の若勢会の人数が3人程度なので活動ができない。合体について可能なら進めて欲しい。(織山) 子ども会でもそう。小学校区単位にしてしまうなど行政でバックアップできないか。(福森)	織山 友里	生活課、総務課、生涯学習課		<p>自治会は、住民の自発的な意思により組織され、互いに交流し地域における様々な問題の解決や生活環境の維持・向上を図る自主的な任意の団体であることから、行政の主導により合体などの組織再編を行うことは、自主性を損なう恐れもあり好ましくないと考えます。</p> <p>現在の少子高齢化と人口減少の中、自治会の活力低下も危惧されているところではありますが、既存の自治会の再編には、何よりも地域の合意が大切であり、地域において十分な話し合いが求められます。</p> <p>自治会の再編は、地域において主体的に取り組んでいただくことを基本としますが、再編を進める上で必要となる環境整備等については支援してまいりたいと考えております。</p> <p>子ども会活動の現状は、会員の減少により活動が困難となっている地区もありますが、地域交流としても大事な活動であることから、近隣の子ども会同士での協力や連携、あるいは統合などが図られてまいりました。</p> <p>しかしながら、連携や統合によって活動内容も変わってまいりますので、子ども会関係者が地域性などを良く理解したうえで推進していくことが大事だと考えておりますので、単位子ども会や子ども会育成連合会など、関係する団体と十分協議しながら、組織としての方向性を検討し、支援をしてまいりたいと考えております。</p>
42	8月19日	33	4-④地域防災体制の充実	イ取組方針	防災無線は各家に受信機があるが、事業所にはない。事業所で負担しても良いので買えるシステムを作って欲しい。また、自主防災組織も事業所単位であっても良いのではないか。	福森 卓	総務課		<p>戸別受信機につきましては、新たな情報伝達手段による整備を検討してまいります。</p> <p>企業の防災に関しましては、国の防災基本計画にも企業防災の推進を位置づけられていることから、地域と企業との連携による地域防災力強化を図るための組織作りに関して検討を進めてまいります。</p>
44			その他	その他	過剰な特産品等で勧誘するのではなく、東京ふるさと会員等の子・孫に勧めてもらう、北秋田市の子・孫に勧めてもらう。標語例も参照。標準的な寄付金額、税金戻り、特産品額等のパターンを例示する。	福原 勝紀	総合政策課	補足案	<p>市が行っている「きたあきたふるさと寄附金」の返礼品は、市特産品のPRを目的に行っているものですので、いわゆる過剰な返礼品合戦は行っておりません。</p> <p>また、首都圏のふるさと会が行っている総会等に出席し「きたあきたふるさと寄附金」のPRに努めており、会員のご家族はもとよりその友人などにも広く周知していただけるように取り組んでおります。</p> <p>パターン例示については、総務省HPをはじめとする関係サイトでシュミレーションが可能となっておりますのでPRしてまいります。</p>
45			その他	その他	少数集落・限界集落は、除雪・買い物・水道維持等に不便で、住民も行政も負担になる。中心部の空き家を利活用して、冬期移住、移住斡旋・助成を勧める。さらに広げてコンパクトシティも推進する。	福原 勝紀	総合政策課	補足案	<p>集落単位での冬期移住などは地域住民の共通認識が無いと厳しいと思われます。なお、個別での移住については、移住定住対策の観点で進めている「空き家バンク制度」の利用が有効になるものと考えております。</p>
46			その他	その他	近い将来、高齢者の一人暮らし、介護施設入居できない、生活保護者増加が懸念される。親戚・友人知人・近所の住民が「誰かの家」に寄り添って同居することを推進してはどうか。生活費は少なくなり、趣味も共有できる。行政は、住居のバリアフリー化、介護支援体制を助成する。	福原 勝紀	総合政策課	補足案	<p>住居のバリアフリー化については、住宅リフォーム事業や介護保険制度の住宅改修事業が有効と考えております。また、介護支援体制については、住み慣れた地域・自宅での医療・介護・生活支援の一体的な提供を目指して進めている地域包括ケアシステムの構築を進めてまいります。</p>